

令和5年度
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会
事業報告書



泉大津市社会福祉協議会イメージキャラクター

ハートちゃん

社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会

令和5年度 社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第2類から第5類へ移行し、完全な収束には至っていないものの、社会経済は回復の見通しが立ってきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響は非常に大きく、コロナ禍で休止していた事業の再開や既存事業の見直し、新規事業の開拓等が必要となり、社会福祉協議会ではそれぞれの部門で事業計画の基本方針や重点目標を精査しながら事業を展開しました。

地域の福祉活動では、地区福祉委員会を中心に「いきいきサロン」、「子育て支援」、「世代間交流」を進めるとともに、地区全体事業の活動を積極的に推進しました。特に小地域ネットワーク活動宇多地区推進会では、特別養護老人ホームの協力を得て、新しく「鍵預かり事業」の取組を進めました。

また、第4次泉大津地域福祉計画と第3次泉大津市地域福祉活動計画が6年計画の最終年度を迎え、次期計画策定を見据えた取組として、自治会、民生委員児童委員協議会、地区福祉委員会、老人クラブの4団体や小地域ネットワーク活動地区推進会等の参画のもと、市内9地区でワークショップを開催し、「泉大津市が『さらに住みやすい地域』になるために」をテーマに話し合いを行い、多くの参考意見を得ることができました。

地域包括支援センターの取組では、認知症支援の一環としてコロナ禍で開催を見合わせていた認知症映画会を4年ぶりに開催し、認知症について広く市民に周知を図ることができました。さらに生活支援コーディネーターが地域に向いてミニ講座を開催し、居場所づくりの支援を進め、新たな地域で立ち上げ支援を行いました。医介連携においては、継続的に医療機関の医療従事者、介護従事者との情報の共有を図り、互いに顔の見える関係を築きました。

このほか、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を終了した世帯や再貸付が承認されなかった世帯等で、引き続き支援が必要な世帯に対して、償還猶予に係る相談・面談や償還免除申請に未応答の借受人への対応などのフォローアップ事業を実施しました。

その他の取組では、国内外で災害が多発していることを受けて、災害ボランティアセンター事業の充実を図るため、研修会の実施や新規登録者の獲得に向けた啓発活動を進めました。

その他、重点目標の取組については、次のとおりです。

<重点目標の取組事項> ~各重点目標は活動計画の一部を引用~

1. 福祉意識の向上

地域住民、学校、就学前施設などとの連携により、福祉の理解やノーマライゼーションが浸透できるような、福祉教育の推進に努めるとともに、地域での交流活動に取り組みました。

(1) 地域共生社会の推進に向けたフォーラムや講座の開催

① 認知症フォーラム

一般市民を対象に認知症に関する正しい知識の普及啓発を行う。

〔実施日〕 9/2

〔場 所〕 テクスピア大阪小ホール

〔参加者数〕 73 人

〔テーマ〕 「キオクでつながる私たち」

〔講 師〕 ゴーゴーお片づけ南大阪営業所
磯野 竜也 氏



② 認知症カフェ

認知症の人、その家族、地域の人が気軽に認知症について相談でき、交流、情報交換ができる集いの場を提供した。

場所	実施回数等
風街	11回（毎月第4水曜日）※3月はおでかけ人カフェ
紅琲院ハマダ	11回（毎月第3水曜日） ※R6.3月は祝日のため人カフェは休み。
愛の家グループホームあびこ	R5.12月から再開。（偶数月第2土曜日開催。）
コミュニティサロン和花	毎週木曜日開催。
一隅を照らす庵	毎月第3月曜日開催。
認知症オープンカフェ	3回（R5.5.20 東雲公園、R6.3.24 中央商店街、 R6.3.27 若宮の杜の前）で開催。

③ 医師会と連携した研修会・会議の実施

医療と介護の連携の推進に取り組むため、医師会や福祉施設などと連携した研修会・会議を実施した。

ア 会議等

- ・イカスミ（医療介護地域推進ネット）会議（4回開催）
- ・地域医療ケア検討会 ※構成員等見直しのため令和5年度は休止
- ・在宅医療推進協議会（2回開催）
- ・在宅医療・介護連携コーディネーター広域会議（2回開催）
- ・在宅医療・介護連携相談窓口（対応件数25件）
- ・看護師交流会（看看連携）（1回開催）
- ・泉州がん診療連携（ネットワーク）協議会 緩和ケア部会（2回開催）
- ・大阪府看護協会泉南支部施設代表者会（年10回）
- ・泉州地域包括推進プロジェクト会議（6回開催）

イ 在宅医療・介護連携の推進事業研修会等

- ・iZak研修会（2回開催）
- ・イカロスネット事例検討会
- ・在宅医療フォーラム
- ・大阪府在宅医療普及促進事業

（2）学校や地域への福祉教育の推進

① 夏休みボランティア体験学習

ボランティア活動につながるきっかけづくりとして、幼稚園児・小学生・中学生を対象に障がいの理解とともにボランティア活動を体験する機会を提供した。

（内 容）

車椅子体験とアイマスク体験	要約筆記をしてみよう	点字体験「点字でメッセージを打ってみよう」
紙芝居を作ってみよう	手話を体験してみよう	朗読を体験してみよう
マスコットづくりをしてみよう		

（延人数67人）

② 小学校等での福祉学習指導等

小学校等において手話や点字を学習する機会をボランティア連絡会の協力のもと実施した。

- ア 点字学習（旭小学校、条南小学校）：各1回
- イ 手話学習（条南小学校）：1回
- ウ 車椅子学習（旭小学校、楠小学校、条南小学校）：各1回
- エ 紙芝居体験（条南小学校）：1回



③ 世代間交流活動・福祉のつどいの実施

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動において、地域の子どもから高齢者まで世代間での交流活動や地域住民が集えて学習できる福祉のつどいを実施した。

ア 世代間交流

地区	回数	参加人数
宇多地区	1回	79人
戎地区	1回	79人
旭地区	4回	163人
条南地区	5回	389人
浜地区	9回	544人
合計	20回	1,254人



イ 福祉のつどい

- ・宇多地区・・・宇多地区福祉のつどい（講演、アトラクション）
- ・旭地区・・・笑いまショウ（講演、アトラクション）
- ・楠地区・・・くすのき福祉のつどい（講演、アトラクション）
- ・条東地区・・・条東地区福祉のつどい（講演）
- ・浜地区・・・元気ハツラツスクール（講演、体操）

2. ボランティア及び市民活動の育成

市民活動支援センターと連携し、ボランティアセンター機能の一層の充実を図るとともに、社協広報紙やホームページ、社協掲示板などを通じて、様々なボランティア情報の周知・啓発に努めました。

(1) ボランティア体験プログラムの充実

福祉活動のきっかけづくりのため様々な団体と連携してボランティア体験プログラムや体験学習の充実を図った。

(2) ボランティアサロンなど活動の場の充実

ボランティア連絡会や登録ボランティアグループ等の連携によるボランティアサロンなど活動の場の充実を図った。

① ボランティアサロン「ハートちゃん」

- ・実施日 4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/26、10/24、11/28、12/19、1/23、2/27、3/26
- ・場所 総合福祉センター4階ボランティアルーム
- ・内容 レクリエーション、小物づくり
- ・利用者数 延人数 83人



② ボランティアサロン（ふれあい風街）

- ・実施日 4/19、5/17、5/31、6/21、7/19、8/16、9/20、10/18、11/15、11/29、12/20、1/17、1/31、2/21
- ・場所 中央商店街 風街
- ・利用者数 延人数 103人

3. 小地域ネットワーク活動の推進

近所づきあいやつながりを強化していくことは、孤立死や虐待などの防止につながるなど、非常に重要であることから、顔の見える機会を作るなど、身近な地域でのつながり強化に取り組みました。

(1) 小地域ネットワーク活動地区推進会

① 小地域ネットワーク活動宇多地区推進会（3回開催）

（協議内容抜粋）

- ・鍵預かり事業について
- ・昔遊びについて
- ・今後の取組について

② 小地域ネットワーク活動旭地区推進会
 ※今後の推進会の在り方について正副長会で協議中

③ 小地域ネットワーク活動楠地区推進会（2回開催）
 （協議内容抜粋）
 ・今後の事業について
 ・各団体からの情報提供など

④ 小地域ネットワーク活動浜地区推進会（6回開催）
 （協議内容抜粋）
 ・鍵預かり事業について
 ・各団体からの連絡事項及び課題提案について

（2）小地域ネットワーク活動地区推進会設置に向けた取組

- ①小地域ネットワーク活動穴師地区推進会準備委員会（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ・婦人会・子ども会・自主防災組織・防犯委員会・穴師小学校）
- ②戎地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
代表者会議
- ③上条地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議
- ④条南地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議
- ⑤条東地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議

（3）活動の場・拠点づくり

「ふれあい喫茶」の推進

場所	回数	参加人数
宇多長寿園	12回	317人
旭長寿園	12回	574人
北豊中長寿園	1回	29人
条南長寿園	1回	57人
松之浜長寿園	8回	392人
中央商店街「風街」	2回	56人
合計	36回	1,425人



4. 総合的な相談支援・情報提供体制の充実

多くの専門機関との調整を行うとともに、福祉施設や医療機関などの専門機関と身近な相談窓口が連携し、総合的に支援できる体制づくりに取り組みました。

(1) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた総合相談事業の推進

地域での催しに参画し、相談会や研修会を実施した。

地域包括支援センターが主催・運営し、多職種で構成される地域包括ケアシステム実現に向けた会議 会議の目的（個別ケースの検討・地域課題の検討）

包括ケア会議（1回）

権利擁護部会（4回）

自立支援部会（個別訪問支援9回・親会議4回）

認知症部会（4回）

5. 防災対策の充実

災害などの緊急時に対応できる体制を市民と連携しながら強化を図るとともに、市民・団体への意識づけを行いました。

(1) 地域のネットワークづくりに向けた防災の講習会の充実

① 第1回災害ボランティアセンター研修会

〔実施日〕6/30

〔場 所〕総合福祉センター3階第一会議室

〔参加者数〕14人

〔内 容〕「災害時のトイレについて」



② 第2回災害ボランティアセンター研修会

〔実施日〕2/28

〔場 所〕総合福祉センター3階第一会議室

〔参加者数〕22人

〔内 容〕「災害ボランティアで大切に
したいこと～みんなで助かる
ための地元住民の役割とは～」

